



指導者のための情報紙

URL: [http://www.saitama-sports.or.jp/junior\\_club/](http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/)

# 下ポル、ともだち仲間たち No.24

発行：財団法人埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館3F

## 平成22・23年度埼玉県スポーツ少年団本部役員決まる

～6月12日の代議員会において推挙・選任～



6月12日、県民健康センターで開催された平成22年度埼玉県スポーツ少年団代議員会において、平成22・23年度役員が決定しました。今年度は役員改選期にあたることから、選考委員会を設置して正副本部長に推挙するとともに、本部規程に基づき本部員を選任しました。なお、本部長並びに副本部長は財団法人埼玉県体育協会長の委嘱を受けて正式就任となります。

本部長 藤沼 貞夫（学識）  
 副本部長 神谷 裕之（朝霞市）（南）  
 岸 輝美（久喜市）（東）  
 佐藤 高弘（蕨市）（南）  
 須澤 一男（所沢市）（西）  
 笠原 建徳（寄居町）（北）

本部長、副本部長の選出されたあと代議員会の審議で次の方々が、本部員に選任されました。

名前	備考	関根 剛	学識（専委）
安部 正幸	学識（専委）	高岡宮十郎	越谷市（東）
新井 基雄	和光市（南）	高橋 仁	上里町（北）
市野 彰俊	学識（専委）	田中 靖彦	学識（専委）
出田 良彦	さいたま市（南）	棚沢 絹江	熊谷市（北）
伊藤 勇	八潮市（東）	豊田 幹雄	県体協理事
今村 夏樹	越生町（西）	野口 英夫	白岡町（東）
大谷 正巳	学識（専委）	野村 良章	蓮田市（東）
大塚 昭	学識（専委）	平井よし子	学識
大塚 富子	学識	兵藤 明子	指導者協議会
大野美江子	草加市（南）	松本 真弓	学識
尾崎 豊	吉見町（西）	宮澤 達三	深谷市（北）
小林 和市	桶川市（南）	村田喜代法	上尾市（南）
七五三和孝	東松山市（西）	山下 實	学識（専委）
関口 正博	飯能市（西）	吉田 敏雄	指導者協議会

※学識（西部：女性指導者）1名追加予定  
 専委：専門委員会

### <キーワード>

**代議員**：埼玉県スポーツ少年団規程第9条により、各市町村スポーツ少年団が、その本部長または副本部長の中から1名を選出する。その他、財団法人埼玉県体育協会長の指名する若干名を代議員とする（120名以内）。

また、代議員会に諮り埼玉県スポーツ少年団指導者協議会より5名以内、学識経験者から若干名を本部長が代議員に委嘱する。

**本部員**：規程第11条により、代議員の中から代議員会において選出し本部長が委嘱する。

東ブロック…4名、西ブロック…4名、南ブロック…5名、北ブロック…3名、女性指導者…4名、指導者協議会…2名、学識経験者（種目別代表者…7名、さいたま市本部長、体育協会派遣理事

（4名）の40名以内。

**専門委員会**：本部員会では5専門委員会を組織し、埼玉県スポーツ少年団本部の運営について提言する。

- ・育成広報委員会：育成に関する調査研究、広報活動、指導者の表彰等を担当。
- ・事業委員会：各種県大会、関東ブロック大会、全国大会などの参加協力に関することや、国際交流、各種競技団体との連携等を担当。
- ・指導者委員会：指導者の資質の向上に関する研修や交流、指導者の発掘等を担当。
- ・リーダー育成委員会：ジュニアリーダーの育成や、県・市町村リーダー会への支援、加入促進等を担当。
- ・指導者協議会：登録指導者相互の連携と資質、指導力の向上および指導者の活動しやすい環境づくりについて協議する。



## 平成22年度埼玉県スポーツ少年団事業計画

### 1. 指導者養成・研修事業関係

#### (1) 認定育成員研修会

期日 関東ブロック① 10月26日(土)

関東ブロック② 11月21日(日)

場所 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

負担 2,100円

※平成18年度認定育成員資格取得者

#### (2) 認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会(県本部)

期日 10月30日(土)・31日(日)

場所 県立スポーツ研修センター

負担 2,000円(テキスト代・昼食代)

※平成22年度登録指導者

#### (3) 第16回スポーツ少年団全国指導者研究大会

期日 6月20日(日)

場所 東京・飯田橋「ホテルグランドパレス」

負担 無料

#### (4) ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラム

期日 平成23年2月

場所 全国1会場

負担 無料

#### (5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会

期日 平成23年1月29日(土)～30日(日)

場所 栃木県・鬼怒川

負担 市町村種目別代表者各2名以内・本部役員・事務担当者(14,000円)

#### (6) 埼玉県スポーツ少年団認定育成員講習会

期日 5月15日(土)

場所 県立スポーツ研修センター

対象 認定育成員資格保持者

負担 無料

#### (7) 体カテスト判定員養成講習会

期日 8月21日(土)

場所 県立スポーツ研修センター

#### (8) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期日 11月27日(土)・28日(日)

場所 三井ガーデンホテル千葉

### 2. リーダー養成・研修事業

#### (1) シニアリーダースクール

期日 8月12日(木)～16日(日)

場所 静岡県・国立中央青少年交流の家

補助 参加費(15,750円)。交通費・宿泊費は日本本部

#### (2) ジュニアリーダースクール

期日 前期 8月20日(金)～22日(日)(2泊3日)

後期 12月18日(土)～19日(日)(1泊2日)

場所 県立スポーツ研修センター

負担 13,000円

対象 中学生

#### (3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会

期日 10月2日(土)～3日(日)

場所 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

対象 リーダー育成担当指導者1名、代表リーダー2名

補助 交通費・宿泊費は日本本部

#### (4) 第9回関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

期日 11月

場所 栃木県

対象 リーダー代表2名 育成担当指導者1名

### 3. 国内・県内交流活動事業

#### (1) 第48回全国スポーツ少年大会(リーダーズアクション2010)

期日 7月31日(土)～8月3日(火)

場所 島根県・国立三瓶青少年交流の家

補助 参加費(12,000円)交通費・宿泊費は日本本部

#### (2) 第41回関東ブロックスポーツ少年大会

期日 8月13日(金)～15日(日)

場所 群馬県・国立赤城青少年交流の家

対象 引率指導者1名・小学6年生以上の団員

補助 参加費・交通費は県本部、宿泊費は大会本部

#### (3) 第43回埼玉県スポーツ少年団大会

期日 8月13日(金)～15日(日)

場所 県立小川げんきプラザ

対象 小学5年生以上の団員・指導者

負担 4,000円

※団員のみの参加も可能

#### (4) 第32回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

期日 8月6日(金)～9日(月)

場所 北海道 札幌ドーム他

補助 宿泊費・交通費は主催者負担

※関東ブロック競技別交流大会勝者より2チーム参加

#### (5) 第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会

期日 平成23年3月25日(金)～27日(日)

場所 兵庫県・兵庫県立武道館

補助 参加費・交通費は県本部

#### (6) 第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

期日 女子：平成23年3月28日(月)～31日(木)

男子：平成23年3月28日(月)～30日(水)

場所 三重県・三重県営サンアリーナ他

補助 参加費・交通費は県本部

#### (7) 第34回全日本少年サッカー大会決勝大会

期日 7月31日(土)～8月7日(土)

場所 福島県・東京都



※埼玉県サッカー協会による推薦

(8) 第29回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

期日 7月23日（金）～25日（日）

場所 山梨県

内容 総合開会式 23日 競技 24日・25日

総合開会式 小瀬スポーツ公園武道館

・軟式野球（男子）富士北麓公園野球場・山梨学院  
川田の森運動公園野球場

・バレーボール（女子）昭和町総合体育館・昭和町  
立押原小学校体育館

・ミニバスケット 鐘山スポーツセンター総合体育  
館・富士河口湖町民体育館

・バドミントン（選抜）緑が丘スポーツ公園体育館

・空手道 小瀬スポーツ公園武道場

### 国際交流活動事業

#### 第37回日独スポーツ少年団同時交流

派遣 7月20日（火）～8月11日（土）

ドイツ連邦共和国

対象 指導者1名（県内選考後推薦）

団員6名（県内選考後推薦）

補助 100,000円

負担 150,000円（渡航手続き経費等）

受け入れ 7月25日～8月4日 小鹿野町

補助 2,000,000円

### 4. 広報出版・顕彰事業

(1) 県情報紙「スポーツ ともだち 仲間たち」

発刊 年3回（7月、12月、3月）

対象 全登録団（1団3部）・市町村本部

(2) 少年スポーツ情報誌「SPORTS JUST」（スポー  
ツジャスト）

発刊 年10回（4・5月、10・11月は合併号）

対象 全登録団（代表指導者）・市町村本部

※有料購読（1冊 年間3,000円）

(3) スポーツ少年団指導者必携書の作成

対象 認定員・認定育成員（認定時に交付）

(4) 少年団顕彰（日本スポーツ少年団）

対象 市町村スポーツ少年団本部 6本部

指導者 13名

(5) 埼玉県スポーツ少年団表彰

期日 12月26日（日）

場所 浦和ワシントンホテル 3階「プリムローズ」

対象 少年団有資格指導者

### 5. 諸会議

(1) 本部員会 年5回

(2) 代議員会 年1回

(3) ブロック本部長会議 東部地区・蓮田市／南部  
ブロック・桶川市／西部地区・日高市／北部ブ  
ロック・熊谷市 ※開催日時、開催場所は未定

## 第37回日独スポーツ少年団同時交流

### — 派遣 —

\*派遣期間 7月20日（火）～8月11日（水）23日間

\*埼玉県からの派遣者（関東Ⅱグループ）

引率指導者：大澤 静香（川口市：BAGUSバレー  
ボールスポーツ少年団）

団員：関口 愛美（鶴ヶ島市：峰心会鶴ヶ島空手道  
スポーツ少年団）

ロストック・ノイブランデンブルグ地方プログラム（予定）

- ▶ 7/22 <ロストック到着・民泊> ▶ 7/23 <海賊祭  
り参加・琥珀工場見学・民泊> ▶ 7/24 <歓迎式・レ  
クゲーム・パーティー・民泊> ▶ 7/25 <ファミリー  
デー・民泊> ▶ 7/26 <区役所表敬訪問・民泊> ▶ 7  
/27 <スポーツとゲーム祭り・民泊> ▶ 7/28 <ウア  
ーネミュンデ市内見学・ラジオ放送局訪問・民泊>
- ▶ 7/29 <ロストックボートクラブでさよならハー  
ティー・民泊> ▶ 7/30 <ノイブランデンブルグ到着・  
歓迎式・ユースホステル泊> ▶ 7/31 <ショッピング  
タイム・民泊> ▶ 8/1 <ファミリーデー・民泊>
- ▶ 8/2 <区役所表敬訪問・スポーツ高等学校訪問・  
民泊> ▶ 8/3 <機械機械工学館見学・真也ハイキン  
グ・民泊> ▶ 8/4 <シュタールガルド城見学・民泊>

### — 受入 —

\*受入期間 7月25日（日）～8月4日（水）10泊11日

\*担当市町村 小鹿野町

\*受入グループ/ヘッセン

主なプログラム（予定）

- ▶ 7/25 <対面式・レセプション・民泊> ▶ 7/26  
<町長表敬訪問・施設及び史跡めぐり・スポ少交流・  
民泊> ▶ 7/27 <高校生とディスカッション・うどん  
打ち体験・スポーツ交流・民泊> ▶ 7/28 <川越観光  
及び散策・リーグ観戦・民泊> ▶ 7/29 <秩父夜祭及  
び小鹿野祭りDVD鑑賞・歌舞伎体験交流・スポ少交  
流・民泊> ▶ 7/30 <近隣市町村高校生等とディスカ  
ッション・プールとミュージックパーク散策・スポ少交  
流・民泊> ▶ 7/31 <スポ少交流・ホストファミリー  
交流会・民泊> ▶ 8/1 <フリー・民泊> ▶ 8/2  
<長瀬ライン下り・三峰神社散策及びスケッチ・民  
泊> ▶ 8/3 <スポ少交流・町内散策・サイクリン  
グ・お別れパーティー・民泊> ▶ 8/4 <移動>



# 第16回スポーツ少年団指導者全国研究大会報告

去る6月20日(日)、東京都千代田区のホテルグランドパレスにおいて、「次の時代を担う子ども達を育む」をテーマに、第16回スポーツ少年団指導者全国研究大会が、全国46都道府県から343人の参加を得て盛大に開催されました。埼玉県からは全体の約3分の1にあたる74人の指導者が参加しました。

当日は開会式での日本スポーツ少年団の坂本祐之輔本部長の主催者あいさつ、文部科学省スポーツ・青少年局の加藤孝男スポーツ・青少年総括官の来賓あいさつの後、特別講演、講義、分科会及び全体会の日程で行われました。

ここでは、講演や分科会の主な内容について報告します。なお、本大会の討議内容等の詳細については『スポーツジャスト』8月号に掲載されますのでご覧ください。

## 特別講演 ●●●●●

『社会環境の変化が子どものスポーツに与えた影響』

講師/浅見俊雄氏(東京大学名誉教授)

### 〈講演の概要〉

スポーツの本質は、遊び的要素を基に楽しい動きをすること。体育は運動の学びの面が強く、スポーツは遊びの面が強い。

競技性を高めるためルールや基本動作を身につけるための練習など、学びの場も活動場面としても必要であるが、「学び」が強くなりすぎるとスポーツではない。学校でのスポーツに対する教えをもう少し良くしていくと、社会(地域)でのスポーツ少年団の活動などとの活動に連動していけば日本のスポーツはもっと良くなる。

\*

最近、「三つのスクリーン」(テレビ・ゲーム・携帯電話)が、人と人とのかわりが薄くなり、スポーツを遠ざけていると言われている。今後、スポーツを行っていない子どもたちに対し、どのようにスポーツに目を向けさせるかが課題。子ども同士が触れ合う場をつくっていくことが大切である。

\*

スポーツを行えない理由として「仲間がない」「時間がない」「空間がない」と挙げられることが多い。時間は工夫すれば作り出せるし、少子化といっても仲



間作りは十分に可能であり、空間は確かに減少しているが、学校(特に小学校)は地域との連携で時間を分けて管理者を変える体制づくりなど有効活用できる余地はある。

\*

体の動きを日々の団活動の中で積極的に取り入れることが大切。いろいろな動きにチャレンジしていくことでチェンジ(変化)が起こる。

\*

朝食をしっかりと食べ、8時間以上睡眠をとる(中学生は7時間)、テレビを見る時間が2時間以下の子供は体力・運動能力が高い。生活習慣が悪いとこれらが低下するという情報を、子どもや親(保護者)に伝えていくことが必要。

\*

フェアプレーはスポーツ活動の中で特に重要な要素。練習後や試合後などのあいさつを行うことは大切であるが、その言葉のもつ意味を教えることが重要。今後の社会生活で生きることになる「何かを大切に思う心」を指導してもらいたい。

\*

全国の指導者には、「あの時のスポーツで」「あの時の指導者との出会い」によって今の自分がある…と、子どもたちから後で言ってもらえるような指導をしていただきたい。

## A分科会

### \*テーマ

『子どもの発達に見合った「おもしろい動き遊び」』

\*座長: 中村和彦氏(山梨大学教育人間科学部准教授)

\*パネリスト: 石井友光氏(帝京平成大学現代ライフ学部専任講師)・武田千恵子氏(東京都足立区五反野小学校主任教諭)

### \*討議の概要

幼少年期の子ども達は本来、身体活動を伴うさまざまな遊びを通して、運動のおもしろさや心地よさを身



につけ、生涯スポーツに移行していると考えられていることを観点とし、子どもの遊びの変遷や実態をもとに、豊かなところと健やかなからだを育むための運動遊びのあり方を考え、子ども達がのめり込んで身体を動かす具体的な運動遊びの内容や、そのコツについて理解し把握するため、昨年は「子どもを見る眼～子ども達がのめり込む運動遊びとは～」をテーマとして開催した。

本年度は、この内容を継続させるとともに、簡単な実技を交え子ども達が自ら進んで身体を動かす具体的な運動遊びやコツを更に捉えていきたい。

### B分科会

#### \*テーマ

「地域ニーズに対応する少年団～変貌する地域に適應する単位団運営のこれから～」

\*座長：佐藤元宏氏（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授）

\*パネリスト：西村雅宏氏（滋賀県草津市常盤スポーツ少年団指導者）・大澤繁雄氏（山形県鶴岡市陽光サッカースポーツ少年団代表指導者）・長積 仁氏（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

#### \*討議の概要

多様な単位団を抱えるスポーツ少年団が理念として掲げる「スポーツによる青少年育成」。変貌する地域環境における少年スポーツ・ニーズに対応しながら、少年団の単位団としてこの理念をどのような形で具現化し、地域から求められる社会活動として展開しているのか。

単位団を束ねる市区町村本部の役割が希薄化してきている現状から見ても、単位団同士の新たな気づきと理解しあえる関係づくりの再構築を通して、地域における公益的な活動を高めていくことが大切になってきている。地域の単位団が協力し合い、「スポーツ少年団理念」の目に見える公的な事業を生み出す力をどのように育んでいくのが重要な課題である。

そこで、本分科会では、地域ニーズに対応する少年団、特に単位団活動における公益的活動に着目し、市区町村によって行政からの公益的的事业に対する支援の仕方には差はみられるが、この単位団活動の公益的的活動は、理念と目標、活動計画に組み込まれることで具現化され、地域住民の方々に青少年育成の具体的なメッセージを発していく。

その公益的的事业に対して単位団が主体的に関わっていく過程において、地域の問題の共有、活動相互支援のネットワーク化が図られ、新たな「理念に基づいた活動」による社会関係資本が構築されることを期待する。

### C分科会

#### \*テーマ

「諸外国のジュニアスポーツ・体育の最新事情に学ぶ」

\*座長：木村和彦氏（早稲田大学スポーツ科学部教授）

\*パネリスト：菊 幸一氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）・川崎登志喜氏（玉川大学教育学部准教授）

#### \*討議の概要

豊かで活動的なライフスタイルを形成するためにも、アスリートとして世界の頂点を目指すにしても、おおよそ中学生までのジュニア期において、スポーツとどのような関わりを持つことができるかが重要であることに論を持たない。各国ともにその重要性に鑑み、ジュニアスポーツ・体育への取り組みを行っているが、少子化や社会・経済環境の変化、その結果として生起している子どもたちの生活や体の変化に対応するために様々な取り組みを行っている。

そこで本分科会では、諸外国のジュニアスポーツ・体育の最新情報に触れ、子どもの身体や体力の変化、運動する子としない子の二極化などの課題に直面している少年団指導者必携の教養となり、わが国のスポーツ少年団の運営や指導にとって有用な知見を提供する。

### D分科会

#### \*テーマ

「対象者の拡大に伴う指導方法の試み」

\*座長：米谷正道氏（川崎医療福祉大学医療技術学部教授）

\*パネリスト：村松敏子氏（山梨県スポーツ少年団常任委員）・菅岡克則氏（岩国市由宇総合支所農林建設課職員）・荒谷 潤氏（財団法人日本サッカー協会技術部係長〈指導者養成事業担当〉）

#### \*討議の概要

青少年期の子どもたちは発育・発達や技術習得の個人差が大きく、その指導において様々な工夫が求められる。また、スポーツに限らずからだを動かすことをいとわない態度や習慣が身につくような就学前の環境づくりも近年強調されている。このように子どもたちが積極的に遊んだりスポーツ活動を行えるようにするには、子どもたちを指導する大人たちの豊富な知識や技術はもちろんのこと、育成母集団や地域との連携・協力に負うところが大きい。

そこで本分科会では、単位団独自にあるいは単位団と地域との連携において就学前から高校生までの幅広い子どもたちを対象とした、あるいは一貫したシステムのもとで行われている指導方法や内容、組織にかかわる事例をもとに、今後のスポーツ少年団の指導の在り方について検討する。



## 平成22年度種目別大会計画

### ■ ■ ■ 軟式野球 ■ ■ ■

- ①第29回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交流大会  
期日 6月13日(日)・19日(土)・20日(日)  
会場 本庄市民球場他
- ②第35回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会  
期日 10月17日(日)・23日(土)・11月24日(日)  
会場 県営大宮・第二公園・吉見町総合公園
- ③第33回中学生軟式野球交流大会  
期日 8月1日(日)・7日(土)・8日(日)  
会場 荒川総合運動公園・市営浦和
- ④第6回埼玉県スポーツ少年団女子団員交流大会  
期日 11月23日(祝日)  
会場 未定

### ■ ■ ■ サッカー ■ ■ ■

- 第39回サッカー少年団大会  
期日 11月7日(日)・14日(日)・21日(日)  
会場 埼玉スタジアム2002(第2・3グラウンド)  
※各4地区を勝ち抜いた32チームによるトーナメント大会

### ■ ■ ■ ソフトボール ■ ■ ■

- 第33回ソフトボール中央大会  
期日 8月21日(土)・22日(日)  
会場 川口市  
※男女共 16チームのトーナメント方式  
※各地区より選出(チーム数)  
東部…男子2女子4・西部…男子0女子4・南部…男子10女子6・北部…男子4女子2

### ■ ■ ■ 空手道 ■ ■ ■

- 第26回空手道交流大会  
期日 9月12日(日)  
会場 県立武道館  
※700名 各ブロック選出  
形 小学1年生～6年生(各学年男女別)  
中学生(一括男女別)  
組手 小学3年生～6年生(各学年男女別)  
中学生(一括男女別)

### ■ ■ ■ バレーボール ■ ■ ■

- ①第29回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会 埼玉県大会  
期日 7月3日(土)・4日(日)  
会場 三芳町総合体育館・吉見町民体育館・所沢市民体育館
- ②第5回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会  
期日 7月31日(土)・8月1日(日)  
会場 熊谷スポーツ文化公園体育館
- ③第7回埼玉県スポーツ少年団中学生交流大会

- 期日 8月29日(日)  
会場 熊谷スポーツ文化公園体育館
- ④第8回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 埼玉県決勝大会  
期日 平成23年1月15日(土)・16日(日)  
会場 さいたま市記念総合体育館

### ■ ■ ■ バスケットボール ■ ■ ■

- ①埼玉県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会  
期日 7月3日(土)・4日(日)  
会場 新座市民総合体育館
- ②第11回埼玉県スポーツ少年団ジュニアリーダーバスケットボール交流大会  
期日 8月1日(日)  
会場 さいたま市記念総合体育館

### ■ ■ ■ 柔道 ■ ■ ■

- 第32回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会  
期日 8月29日(日)  
会場 県立武道館 ※1000名

### ■ ■ ■ 複合 ■ ■ ■

- 第30回複合種目大会  
期日 9月4日(土)～5日(日)  
会場 大鳩園キャンプ場・名栗湖(カヌー工房)

### ■ ■ ■ ソフトテニス ■ ■ ■

- 第31回埼玉県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会 中央大会(小学生)  
期日 8月21日(土)  
会場 熊谷市彩の国熊谷ドーム多目的運動場
- 中央大会(中学生)  
期日 8月28日(土)  
会場 未定

### ■ ■ ■ バドミントン ■ ■ ■

- ①第29回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)  
期日 12月4日(日)  
会場 久喜市総合体育館第一体育館
- ②第17回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)  
期日 平成23年2月26日(土)  
会場 蓮田市総合体育館

### ■ ■ ■ 剣道 ■ ■ ■

- ①第34回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会  
期日 8月29日(日)  
会場 宮代町総合体育館
- ②第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会  
期日 12月11日(日)  
会場 熊谷市民体育館

### ■ ■ ■ 駅伝 ■ ■ ■

- 第28回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会  
期日 平成23年2月11日(祝日)  
会場 朝霞市陸上競技場

## 少年団活動の安全対策

### 起こってしまった事故

安全対策については、指導者の皆さんが中心となり十分に行っていただいていると思いますが、シーズン本番前にもう一度原点に立ち返って確認してはいかがでしょうか。

今年4月には埼玉県八潮市の小学校校庭のバスケットゴールが倒れ、バスケットの少年団員が重傷を負いました（産経新聞 4月18日より）。転倒の原因は野球チームが校庭を使用するためにゴールを動かし固定することを怠ったため、また朝礼台がすぐ横にありその上からだと簡単にバスケットリングにぶら下がる場所に移動したことなど、複数の要因が重なったものでした。いずれにしても基本的な安全対策を怠ったことが負傷事故につながってしまいました。

6月には山口県で団員だけで移動していた野球用のネットが、強風のため倒れ小学4年生の団員が死亡する事故が発生しました。当時はかなりの強風が吹いていたようで、いつもなら団員だけで簡単にできる事が思わぬ事故になってしまいました。

毎日新聞の6月12日付によると、午後1時からの野球の練習のため子供たちだけで準備をしていた。この時点で現場には監督指導者はまだいなかったとのことであった。山口県警察では業務上過失致死で捜査中である。

この場合も指導者の誰かが危険予知をしておけば未然に防ぐことができたかもしれませんが。ボランティアの指導者であっても事故が起これば責任を問われます。常に危険予知について認識しておく必要があります。

便利すぎて危険！体育館の玄関前にバス停が… →



アンカーの確認



### 施設利用について

#### 1 学校施設の場合

屋外では、サッカーゴール取り付け状況確認／野球バックネット確認／バスケットゴール確認／その他の施設の安全確認。

屋内では、吊り下げバスケットゴールの設置／仕切りネットの状態／折りたたみ椅子の出し入れ等の安全確認。

#### 2 公共施設利用の場合

- 1、利用規約を厳守すること。
- 2、利用区域以外には、立ち入らせないこと。
- 3、施設によっては、利用に危険がある場合がある。

体育館入り口が、路線バスの停留所、および折り返し待機場所。

施設と駐車場の間に交通量の多い道路がある。

※会場責任者および指導者は、安全確認の徹底をお願いします。

### 熱中症を防ごう（熱中症予防8か条）

～知って防ごう熱中症～

- \*あわてるな、されど急ごう救急処置
- \*熱いとき、無理な運動は事故の元
- \*急な暑さには要注意
- \*失った水と塩分取り戻そう
- \*体重で知ろう健康と汗の量
- \*薄着ルックでさわやかに
- \*体調不良は事故のもと

#### 熱失神・熱疲労

涼しい場所に運び、衣服をゆるめ水分を補給すれば通常は回復する

#### 熱けいれん

生理食塩水（0.9%）を補給すれば通常は回復する

※いずれの場合も素人判断せず、専門家に連絡する。

#### 熱射病

体温の上昇により中枢機能に異常をきたした状態：意識障害（反応が鈍い、言動がおかしい、意識がない）死の危険のある緊急事態です。体を冷やしながら集中治療のできる病院へ一刻も早く運ぶ必要があります。水をかけたり濡れタオルをあててあおいだり、体温を下げる対応が、現場で必要です。

屋内でも熱中症が起こる危険があります！

まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役



# リーダー養成 ～将来のよき指導者へ～

## リーダーとは

指導者とともに、集団が目標とするゴールをめざしてメンバーをひとつにまとめ、積極的に集団の活動を推進していく人のことであり、少年団では、指導者と区別し、団員の代表者としてリーダーシップを発揮する人のことをいいます。

スポーツ少年団では、現在活動している団員の中から、将来のスポーツ少年団指導者を養成するため、リーダーの養成事業を行っています。

## ジュニアリーダースクール

参加対象：日本スポーツ少年団登録団員で、団体活動歴2年以上の小学5年生以上中学生までの者とする。

講習内容：次の内容を含む20時間以上のコースを設定する。

- (1) スポーツ少年団とは
- (2) スポーツ少年団のリーダーとは
- (3) 活動プログラムの実践(スポーツ活動、交歓交流活動、集団生活、集団行動等)
- (4) 話し合い

## シニアリーダースクール

参加対象：次のいずれの条件を満たす者とする。

- (1) 日本スポーツ少年団登録団員で義務教育を終了した20歳未満の者
- (2) 「ジュニア・リーダー」の認定資格を有する者(これに準ずる者を含む)「ジュニア・リーダー」の認定資格者に準ずる者は、別に定める。

講習内容：次の内容を含む40時間以上のコースを設定する。

- (1) スポーツ少年団とは(意義と原則・組織と活動)
- (2) リーダーとは
- (3) 少年期の発育発達
- (4) スポーツの指導
- (5) 安全管理
- (6) 体力テスト
- (7) グループワーク
- (8) スポーツ少年団員のための運動プログラム
- (9) 交歓交流活動の実践
- (10) 研究協議



## 埼玉県スポーツ少年団実態調査にご協力ありがとうございました

昨年11月にスポーツ少年団の活動実態やご意見・ご要望のアンケートを単位団(100団)・指導者(500人)・団員(1000人)を登録台帳より種目・地域を考慮のうえ無作為に選ばせていただきました。

たくさんの回答をいただきありがとうございました。ただいま、スポーツ少年団の運営に反映できますようにとりまとめて、皆様に報告できるように準備しております。

## 編集後記

ジュニアリーダーやシニアリーダーに関心のない指導者の方が多いように思います。小学校6年卒業と同時に卒団ではなく、中学生・高校生になっても団に残って、団員と指導者の間に入って活躍してもらおう、働きかけませんか。

埼玉県スポーツ少年団事務局 気付「育成広報委員会」  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-14-1 埼玉県自治会館内  
TEL: 048-822-5171 FAX: 048-822-5174  
E-mail: saitama ken @ japan-sports.or.jp